

項 目	38年度決算		39年度当初		項 目	38年度決算		39年度当初	
	見 込 額	予 算 額	見 込 額	予 算 額		見 込 額	予 算 額	見 込 額	予 算 額
盲ろう学校費	150,945	176,564	保健体育費	321,021	124,618				
養護学校費	58,124	67,192	保健体育総務費	40,094	43,081				
社会教育費	71,404	77,649	学校保健費	7,921	9,343				
社会教育総務費	45,465	51,699	体育振興費	27,152	10,919				
文化財保護費	2,724	1,309	体育施設費	245,854	61,275				
図書館費	23,215	24,641	歳 出 計	15,707,578	16,803,079				

(註) 予算科目については、予算、決算を対比する関係上39年度の科目により掲記。

(項) 高等学校費 (目) 農業高等学校実習費及び(目) 水産高等学校実習費については昭和39年度より一般会計に繰入れされたため同一表に記載した。

### 第3節 教職員の給与

#### 1 給与制度改革の概要

昭和38年度においては、前年度に引き続いて人事委員会の給与勧告に基づく給与改定が行なわれたが、その引き上げ率は、おおむね6.7%である。改定内容は、下位号給に厚くベース・アップを行なったほか、一定号給以上に3月の昇給短縮がなされた。

諸手当については、12月の期末手当および3月の勤勉手当がそれぞれ0.1月分増額されるとともに、一般休職の期間は2分の1を在職したものとみなして期末手当が支給されることとなったが、その他については、前年度と同様である。

昭和39年2月1日現在の給料表別等級別号給別職員分布表および諸手当支給制度は、次の表のとおりである。

#### 小、中学校教育職員

号 給	1 等 級		2 等 級		3 等 級	
	給 料 月 額	人 員	給 料 月 額	人 員	給 料 月 額	人 員
1	31,200		14,300	44	12,800	2
2	33,100		15,400	84	13,200	7
3	35,000		16,700	90	13,600	7
4	36,800		18,000	298	14,300	85
5	38,500		18,900	431	15,100	61
6	40,200		19,800	493	16,000	33
7	41,900		20,800	559	17,000	54
8	43,600		22,300	444	18,000	51
9	45,300		23,800	634	19,000	25
10	47,000	7	25,300	621	20,000	26
11	48,700	26	27,200	643	21,400	22
12	50,400	27	29,200	733	22,800	28
13	52,200	39	31,100	1,076	24,400	14
14	54,100	82	33,000	1,036	26,000	13
15	56,000	45	34,800	1,142	27,500	11
16	57,900	43	36,600	737	28,900	11
17	59,800	65	38,200	893	30,100	8
18	61,700	46	39,700	775	31,300	13
19	63,000	122	41,100	533	32,400	8
20	64,300	128	42,500	713	33,300	6
21	65,600	106	43,900	318	34,100	3
22	66,900	61	45,300	241	34,800	2
23	68,000	25	46,600	292	(S1)35,500	3
24	69,100	7	47,800	174	(S6)39,000	1
25	70,000	13	49,000	212	(S13)43,900	1
26	70,900	8	50,200	111		
27	(S1)	2	51,400	103		
28			52,500	46		
29			53,600	35		
30			54,700	69		